

機友会ニュース

(題字は村山五周氏)

校友組織と母校立命館の連携促進に寄せて

立命館大学機友会会長 大庫 典雄

(昭和二十四年卒)

時下、機友会会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本会の諸活動に対し、何かとご支援を賜り誠に有り難うござい

ます。機友会はこの程、第二十一回目の記念総会を開催することとなりまし

た。理工学部は昭和十三年に設立された立命館高等工科学校にあり、間もなく創設七〇周年を迎えようとしております。機友会は理工学部創立直後の昭和十六年に設立されまし

た。時代には比べ三倍以上に増員されてい

ます。また、平成十九年四月より機

り、会員各位もご存知のとおりであり、校友として誠に喜ばしく、お互いにこの喜びを共有しながら、更なる発展に向けて母校への支援の輪を

願ひ申し上げます。なお、過年来、本学のホームページの中に機友会のホームページを開

く関わってきた一人でもあります。色々なニュース等で報道がされて



大庫 典雄

さて、理工学部の機械システム系

二〇〇七年四月から、理工学部長

機友会のますますの発展を祈念して
学部長 坂根 政男



坂根 政男

後立命に入学。大阪市役所、旧日本

今後、この新しい体制から、創造的

平成十九年八月十九日(日)都内

支部長 古城敏幸



航空・梓設計等の業務を経て、昨年全てのお勤めをやめ、当年八十二歳だとのことでしたが、さすが軍人出身で背筋が伸び、豊稜(きりぎりす)然たる印象。二次会にお誘いした時も「お誘いは断らない主義」と最後まで気持ちよくお付き合頂きました。年少者は、業務多忙の為、当初総会のみ参加予定を、懇親会までお付き合頂いたM氏(平十七年卒)。九月に転勤というのに庶務を快く引き受けて頂いた気立ての良いK氏(平五年卒)と紅一点の心休まる受付のM女史(平九年卒)でした。次回も集うことをお約束し閉会としました。

有志のみの二次会は深みのあるS氏(昭三十二年卒)の顔利きで「駒形どせう」店です。また、二次会に於ける、学者肌で気さくな叔父様へ変貌の元H製作所研究所所長のK氏(昭四十四年卒)等々のユニークなお話しを紹介したかったのですが、紙面の関係上割愛させて頂きます。

次回平成二十一年予定の総会には今回ご出席かなわなかった方々も、万障繰り合わせの上ご参加頂けますように伏してお祈り致します。



この会のスタートは定かでないが、関西地区に在住の仲間を声をかけて現在十三人が集まり情報交換等をしていきます。今まで、新年会、忘年会、ピアーガレージン、その他ゴルフコンペ等の集まりがありました。この会のメンバーが幹事となり、機械工学科四十二年卒全体の同窓会も三回程度開催し多数の参加を得ました。

しかし、我々も還暦を迎え、今までと違った環境になってきています。人により状況は違いますが、すでに会社を退職された方、定年後も勤められている方、全く下がらず現状維持の方、年金生活の方、アルバイトをして、生活のリズムを保っている方、またご不幸にお亡くなりになられた方など、人生模様は実に幅広く、感慨入の年齢を迎えています。各人各様の人生観を胸に、それぞれ楽しく元氣な毎を送りたいものです。

さて、このたびの我々の集いは二

立命館大学機械工学科
四十三年卒の集い

〇〇八年一月二十日(日)夕刻五時三十分より、料亭一しや庵(一〇二)一京都市下京区高倉仏光寺上ル東側にて開催しました。添付の写真はその折の記念写真であり、十三名宛に案内を差し上げましたところ、写真に写っていない十二名のご参加を頂きました。ほぼ一年ぶりの集いとなりましたが、参加者各位とも色々な話に花が咲き、時間の経つのも忘れて、旧交を温めることとなりました。幹事としても、この会で皆に会えることがこの上なく楽しみです、今後とも継続して行きたいと思いを、どうぞ宜しくお願います。なお、関西地区に在住のクラスメイトの皆様で、この集いに参加頂ける方々については、下記のご案内を頂きます。奮ってご参加いただきますよう、心よりお待ちいたしております。

連絡先
〒612-8502 KAWASUMI 1-10-10, 1F, 2F
幹事：澤田・武田・酒井

私達同窓生は、苦節の歩みと共に広範な分野で活躍している人が多く、クラス会も三年毎に行っていました。が、時の経つのも早いもので本年は卒業して五十年を迎えることになりました。

五十周年の節目を迎えて衣笠時代の思い出を仲間とゆっくり語り合う場として、衣笠学舎の近辺嵐山にあるご清遊の宿「らんざん」に於いて平成十九年六月十二日に一泊同窓会を行いました。参加者は三十数名と恩師の寺石稔先生、現職の酒井達雄教授をお招きして開催致しました。当日は皆様方ご多用の中、遠路からもご足労賜り元氣な顔で集合していただき、幹事としても感謝すると共に喜ばしく存じました。

久しぶりが中々名前が出てこない、それでもジッと見つめるとそれぞれ動き個性と共に、昔の姿、顔が浮かんで参りました。

庭園に於いて記念写真撮影後、開宴、若尾正さんの司会により冒頭に恩師

同窓生(二十数名)の物故者に対して黙祷ご冥福をお祈り申し上げました。尚、開宴に先立ち立命館大学、全国校友会会長 山中諒様・全国機友会会長 大庫典雄様・理工学部機械工学科 学科長 岩清水達夫様より戴いたご祝電の披露がありました。ここに衷心より厚くお礼申し上げます。本日、ご出席いただきまして酒井教授には五十周年を迎えてのご挨拶を賜り、続いて立命館大学の現況と将来像についてお話しして頂き、懇親会は寺石先生の乾杯の御発声でご歓談に入り、その後数人の代表者より懐かしい思い出や近況をお話頂きましたが、私は当時広小路学舎正門清心館前に全国の学徒動員で亡くなった方々を記念して反戦平和の誓いを新たに「わだつみの像」が建立されたこと、民主的な学園運営の実現に向けての(故)末川博総長の発意が今でも頭に残っております。また、私達が学んだ木造の機械科の実習実験室、鍛造室等衣笠学舎も浮かんでまいります。

懇親会場では松本博文さんのご支援により現応援団の学生さん数名が特別参加して頂き校歌、応援歌と共に雰囲気も盛り上がり会場は何時しか、夜遅くまで衣笠時代のよき思い出を語り合う場となり旧交を温めていただき、余生をお互い充実感の持った人生を歩む事で閉会としました。今後皆様方健康に留意され衣笠で出会った仲間は遠く離れても心の繋がりを大切に次回も元氣なお顔でお目にかかれることを楽しみにしております。

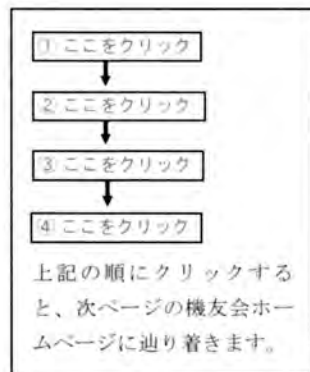
末尾になりましたが母校の一層のご発展と共に機友会会員各位の益々のご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げます。



立命館大学理工学部機械工学科 卒業50周年記念同窓会 2007年(平成19年)6月12日 於 56.22



本学ホームページ (<http://www.ritsumei.ac.jp>) から
機友会ホームページの入り方
(<http://www.ritsumei.ac.jp/se/rm/kyukai/>)



Rits 立命館大学 理工学部 機械システム系
Faculty of Machine Systems
College of Science and Engineering - Ritsumeikan University

モノを設計し材料を加工し、大量生産するプロセスにおいて、きわめて大きな役割を担っている機械システム。現代ではナノテクノロジーや情報科学などと連携しながら、機械システムはその対象領域をさらに拡大しつつあります。そうした中で立命館大学理工学部の機械システム系は、伝統的な機械工学から、人間の未来を支えるロボット工学、そしてマイクロ機械システムまで、最先端の設備環境を整え、幅広く機械システムを学べる場を提供することで、新時代を担うエンジニア・研究者を育成します。

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学 理工学部 機械システム系
All rights reserved.
TEL 0775612664 FAX 0775612665

機械工学科
Mechanical Engineering

ロボティクス学科
Robotics

マイクロ機械システム工学科
Micro System Technology

工作センター
アクセス
キャンパスマップ
スタッフ
就職情報
MSDNA
到達度検証試験

立命館大学
理工学部
理工学研究所
入学案内
大学院入試
キャリアセンター
校友会
機友会

教員用ページ

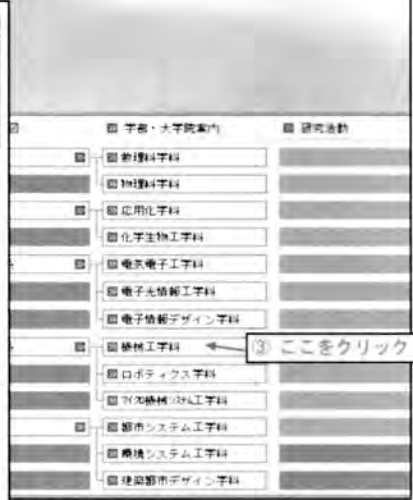
機械システム系

機械工学科
Department of Mechanical Engineering

ロボティクス学科
Department of Robotics

マイクロ機械システム工学科
Department of Micro System Technology

④ ここをクリック



RITS 立命館大学 機友会ホームページ

初版発行:2004-06-06

更新日:2007-11-16 <更新記録>

立命館大学機友会は、立命館大学理工学部・機械系学科に在籍する
学生、同窓生、教員、教員OBのための同窓会組織です
(機械系学科:機械工学科・ロボティクス学科・マイクロ機械システム工学科)

機友会ホームページの見方

Menu

- ご挨拶
- 機友会のあゆみ
- 機友会の構成
- 組織と会員
- 役員構成
- 会則
- フォトアルバム
- 最近のニュース
- 同窓・支那便り
- 変更フォーム
- 展示板
- 事務局便り

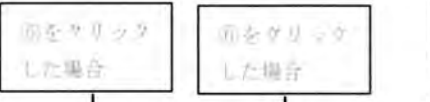
Links

- 立命館大学
- 理工学部
- 機械系
- 機友会
- 京都だより



⑤ ここをクリック

⑥ ここをクリック



京都支部が第七回支部総会を開催しました。 於:京都ガーデン・レスホテル <2007.07.07>

第7回機友会京都支部の総会が、2007年7月7日(土)、京都ガーデンホテルで午後4時30分より開催されました。参加者は中野支部長ほか、20名、総会は、下記の3部構成で進行されました。

第1部の総会では、(1)中野支部長の開会の辞、(2)大塚機友会会長の来賓挨拶、に引き続き、(3)事業報告および大学の状況報告、(4)会計報告および会計監査報告、(5)役員改選および今後の活動報告があり、新役員として、佐々木康彦氏が新支部長に以下、全13人の組織・新規役員が選出されました。中野前支部長は、酒井先生、板根先生と共に顧問に選任されました。

第2部では、京都学園大学教授、大西先生から「ハイテク企業を生む京都・京都の証」と題し、ハイテク産業を中心に京都をしっかりと呼んでいる状況、独特の観点から考察された楽しいお話を伺いました。

第3部の懇親会は、約1時間半、講師を又えて和やかな雰囲気、懇親会が持たれ和気藹々の内にお開きとなりました。この中で、京都御苑に今も残る、西園寺軍将の話題として「白雲神社」が、酒井先生より紹介されました。
<文責:京都支部庶務幹事 板根謙二氏(昭和47年生)>

災害救援軽量航空機開発プロジェクトに関する記事

第2日 (9月22日) *** 試作機の走行試験・小型無人機の飛行実験 ***
場所:上五島空港 (9:30~15:00)

- 1)軽量航空機(UWP)の地上走行試験の実施
静止摩擦係数の測定、動摩擦係数の測定、エンジン回転速度と加速性能検定装置の機能確認、ブレーキの作動確認、高速走行による機体構造の安全確認
前記の通り、理論値と実測値がほぼ一致しており所期の目的を無事に達成することができた。(但し、最後に若干の調整点を確認したが、これは将来に対する改善点が顕在化した事を喜ぶべきであり、更に精進して頂きたい。
 - 2)小型無人機の展示飛行の実施
日エアシステム西藤先生による小型ラジコン無人機の飛行実験、災害救援のための地上情報収集の確認
ほぼ1分以内のコントロールにより、高度100m前後の上空を縦横無用に飛行し、それを見上げる見学者約100名をパッチリとらえた航空写真もあり、大きな拍手で実験は終了した。
- 以上、今回は昨年まで運用されていた実際の空港がある新上五島町で実施された事もあり、これまでに無い、緊張感と完成感に満ちた「軽量航空機開発研究会」として、成功裡に終了出来ましたことを、最後になりましたが、種々ご準備を賜りました井上町長をはじめ関係の方々々に厚く御礼申し上げます。



【編集後記】

立命館大学機友会の機関紙「機友会ニュース」も、このたびNo.12を発行することになった。本号では、巻頭の会長挨拶、支部だより、同窓会ニュース等の記事を掲載させて頂くとともに、とくに本学ホームページ上の「機友会ホームページ」の詳細な参照方法を紹介させて頂いた。また、ホームページ参照例として「第7回京都支部総会」に関する関連記事を掲載させて頂いた。本紙掲載記事の原稿をご執筆いただいた会員各位に対し、深甚なる謝意を表する次第である。また、本会ホームページの編集のご尽力を頂いた高木副会長、本紙発行企画をご担当頂いた大金副会長、電子データの編集作業をご担当頂いた小澤会計幹事はじめ、関係各位に対し、この場を借りて厚くお礼申し上げます。



びわこ(さつわか)より上五島空港へ無事到着

組立・調整

静止した動摩擦係数の測定

加速性能・検定装置、高速走行による安全確認

立命館大学機友会事務局
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1
立命館大学理工学部機械システム学系 事務室
TEL.077-561-2664 FAX.077-561-2665